

2025年も京都への誘致が相次ぎ決定

～日本初開催となる国際会議を含む大規模学会など～

国立京都国際会館では、医療分野を中心に、2025年も大規模な国際会議・学術会議の京都誘致に多数成功しました。日本初開催となる国際会議をはじめ、コロナ禍で開催中止となった国際会議を再び京都に誘致することにも成功し、40年ぶりの京都開催となる国際会議や、2030年開催の国内大規模医学会などが決定しています。

これらの実績により、コンベンション開催の拠点としての京都の存在感は一層高まっています。

2026年も、京都の魅力と世界基準の設備とホスピタリティを強みに、国際会議・学術会議の誘致を積極的に推進してまいります。

■ 日本初開催となる国際会議

- **WONCA World Conference 2029 (世界家庭医機構 世界会議) 2029年 約8,000名**
家庭医療分野において世界最大の国際会議が、日本で初めて京都で開催されることとなりました。
詳細：<https://www.primarycare-japan.com/news-detail.php?nid=1499>
- **12th World Glaucoma Congress/第38回日本緑内障学会 2027年 約3,000名**
緑内障学分野の世界会議「WGC」は、2021年にコロナ禍で京都開催が中止となったものの、日本では初めて、再び京都での開催が決定しました。
詳細：<https://wga.one/events/wgc-2027-kyoto-japan/>

■ 40年ぶりに開催される大規模国際会議（2029年）

- **世界集中治療医学会議 & 第56回日本集中治療医学会学術集会 2029年 約12,000名**
集中治療医学分野の世界会議が、40年ぶりに当館で開催されることになりました。
詳細：<https://www.jsicm.org/news/news251104.html>

■ 5年先開催の大規模国内医学会（2030年）

- **第68回日本癌治療学会総会 約8,000名**
癌治療学分野で国内最大級の医学会が、10年ぶりに当館で開催されることになりました。
詳細：https://www.jsco.or.jp/annualmeeting_seminar/future_annualmeeting.html